



小さな窓

平成30年5月1日(火)

三鷹の森学園

三鷹市立高山小学校

校長 柳瀬 泰

現在、開花しているアンネのバラが、学校ホームページのギャラリーでご覧いただけます。

学びの「さ・し・す・せ・そ」のススメ

校長 柳瀬 泰

料理の「さ・し・す・せ・そ」と言えば、砂糖、塩、酢、醤油、味噌、です。

これに倣って、高山小学校では、生活の「さ・し・す・せ・そ」を徹底しています。

「さ」は、さわやかなあいさつと返事

「し」は、静かな廊下

「す」は、素早い集合

「せ」は、せっせと掃除

「そ」は、そろった靴箱

です。覚えやすく、分かりやすい、大切な生活のきまりです。

これに加えて、今年度より、学びの「さ・し・す・せ・そ」を日々の学習活動に意図的・計画的に取り入れていきます。

「さ」は、探す

「し」は、調べる

「す」は、推論する

「せ」は、整理する

「そ」は、創造する

です。

「さ」は、問題を発見し探求する力。「し」は、疑問は手間を惜しまず調べようとする態度。「す」は、各教科で学んだ見方・考え方を生かして推論する力。「せ」は、集めた情報を目的に応じて整理する力。「そ」は、前提にとらわれない発想で創造する力、のことです。

人生100年と言われる時代において、子供たちが、学校で学ぶのはわずかな時間です。だからこそ、自ら学び、自ら考え、実行する基礎となる力を育てることが学校の大切な使命と考え、高山小学校では、「学び」と「生活」の「さ・し・す・せ・そ」が子どもたちに身に付くよう働きかけていきます。

<5月の行事予定>

2日(水) 消防写生会(1、2年) 委員会	22日(火) 遠足(4年)
7日(月) 全校朝会	23日(水) たてわり集会 遠足(1年) クラブ
8日(火) 避難訓練	24日(木) 遠足(5年)
10日(木) 遠足(2年)	25日(金) 遠足(わか竹)
11日(金) 午前授業	28日(月) 全校朝会
14日(月) 全校朝会	29日(火) 遠足(3年) 危機回避訓練
16日(水) 耳鼻科検診(全学年)	30日(水) 音楽朝会 クラブ
21日(月) 全校朝会	31日(木) 演劇鑑賞教室(6年)



5月のめあて

生活 基本的な生活習慣を身に付けよう

安全 不審者侵入時の避難の仕方を身に付けよう

保健 良い習慣(基本的な生活習慣)を身に付けよう

教務部

教務主任 沼本 成泰

学校をクルーズ船に例えてみると教務部の仕事は、船の航路を決めたり燃料を積みこんだりスケジュールを調整したりエンジンの調子をみたりと、キャプテンを中心にクルーの人たちが協力して仕事ができ無事故で素晴らしいクルージングになるように裏方で頑張る仕事といえます。

小学校には運動会や音楽会などみんなが楽しみにしている全校で取り組む学校行事があります。また、学年別の遠足や社会科見学の日程を決めたり、各クラスの時間割りを調整したりと様々な予定を整理して調整しなければなりません。

また転出する児童の学籍の移行など正確に行わなければならない手続きや、避難訓練、保護者会なども必要です。教務はその全てを掌握して調整し、時には運営進行なども担います。

教務の仕事どれ一つをとっても、学校に無くてはならない大事な仕事です。「今日が楽しく 明日が待ち遠しい学校」を、との学校長の心を我が心として一致団結して働いています。

生活保健部

生活保健主任 関口 佳美

今年度初めて全校児童が集った朝会。柳瀬校長先生は「あい」についてお話されました。認め合い、支え合い、語り合い。そんな「あい」にあふれた毎日にしていきましょうとの温かいメッセージでした。

「あい」がたくさん生まれる学校生活を送るには、子供たちが十分に思考し活動できる時間、気持ちよく集中できる場所、安心して自分の思いや考えを語ることのできる人間関係が大切になります。そして、この「時間・場所・人」は、全校児童と教職員のみんなで創り、守っていく必要があります。

そこで、高山小学校では、「さしすせそ」を合言葉に、日々を送っています。

さ…爽やかな挨拶と返事
す…素早い集合
そ…揃った靴箱

し…静かな廊下
せ…せつせと掃除



「さしすせそ」のある生活を通して、子供たちに自分の心や環境をより良く整える習慣を育てたいと考えます。そして、子供たちと「あい」にあふれたさわやかな毎日を送っていきたくと考えます。

「今日が楽しく 明日が待ち遠しい学校」 をつくる 高山小学校 四部会

学習研究部

生きて働く「言葉の力」を育む

学習研究部主任 横山健悟

今年度より、高山小学校では、朝学習時間を「ことばの時間」として位置づけ、子供の言語能力を育てることを目的にして取り組みます。

子供たちの語彙を豊かにし、言葉の特徴やきまりの理解を図るため、「発声・書く」といった表現活動を中心にして、国語（火曜）と外国語（金曜）で活動を設定しています。高学年の「外国語科」、中学年の「外国語活動」の新設にともない、金曜のことばの時間（外国語）では、外国語の指導内容を基に、発達段階に応じて活動を新たに考え、取り組んでいます。

言葉は、子供が行う学習活動を支える重要な役割を果たすものであり、全ての教科等における学習の基盤となるものです。子供の「声」を鍛え、子供の「言葉」を磨くことを通して、子供の言葉を生きて働くものにしていきます。

特別活動部

自己有用感の育成

特別活動主任 伊藤 貴之

そもそも特別活動とは、どんな活動のことなのでしょう。例えば、入学式や卒業式の学校行事や委員会活動、クラブ活動などを示します。その中でも、高山小学校の特別活動の柱となっているのが、「たてわり班活動」です。1年生から6年生が一つの班になり、朝の15分間を使って6年生が考えてきた遊びを行います。たった15分の時間。この15分を計画するのが想像以上に大変なのです。計画、実行、振り返り、反省、計画……。この過程の中に大きな価値があります。それは「自己有用感」を感じさせることです。人の役に立った、人から感謝された、人から認められた、という経験を異学年の交流の中で、6年生に感じさせたいと考えています。

6年生の成長は次の5年生への成長につながります。高学年を成長させることを通して学校全体を成長させていきたいと思えます。